


2004年度 第3四半期 決算説明会

富士写真フイルム株式会社
2005年1月31日

 本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの注意 業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2004年度 連結業績

業績概要(9ヶ月累計)

(単位:億円)

	2004年度 9ヶ月累計		2003年度 9ヶ月累計		増減	
	割合	金額	割合	金額	金額	%
国内	50.9%	9,635	51.3%	9,761	-126	-1.3
海外	49.1%	9,295	48.7%	9,264	+31	+0.3
売上高	100.0%	18,930	100.0%	19,025	-95	-0.5
営業利益	7.7%	1,449	7.7%	1,466	-17	-1.2
税引前利益	7.6%	1,439	7.0%	1,335	+104	+7.8
当期純利益	3.9%	735	3.8%	715	+20	+2.8
為替:米ドル		109円		115円		-6円
ユーロ		134円		132円		+2円

2004年度 連結業績



業績概要 (第3四半期)

(単位: 億円)

	2004年度 第3四半期		2003年度 第3四半期		増減	
	%	金額	%	金額	金額	%
国内	50.9%	3,259	50.6%	3,251	+8	+0.3
海外	49.1%	3,141	49.4%	3,176	-35	-1.1
売上高	100.0%	6,400	100.0%	6,427	-27	-0.4
営業利益	6.8%	436	8.2%	529	-93	-17.7
税引前利益	5.9%	380	8.2%	525	-145	-27.5
当期純利益	3.2%	208	4.7%	304	-96	-31.6
為替:米ドル		106円		109円		-3円
ユーロ		137円		130円		+7円

2

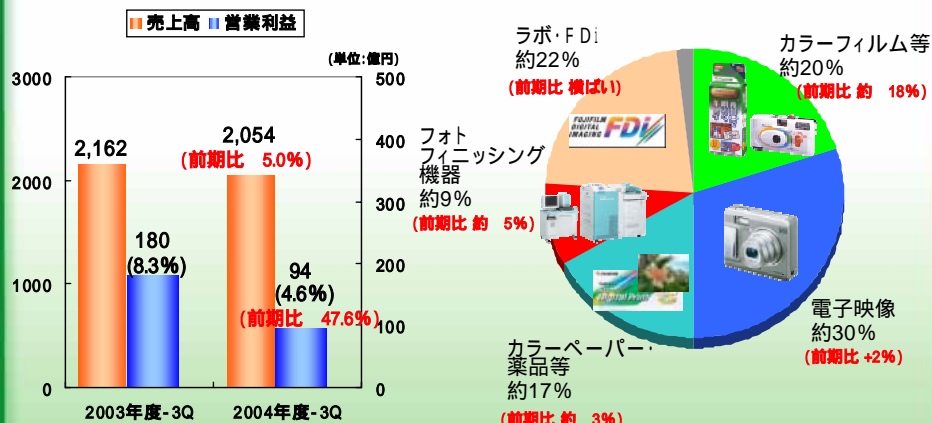
事業別セグメント情報 (第3四半期)



イメージングソリューション

売上高・営業利益

売上構成比



*セグメント間取引消去後

3

事業別セグメント情報（第3四半期）

FUJIFILM

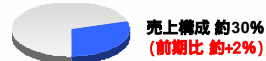
カラーフィルム等



- 当社販売数量は、国内で前期比 約25%減、海外で約20%減。
- クリスマスシーズンを控え、テレビCM等で「写ルンです Night & Day」の宣伝を強化。



電子映像

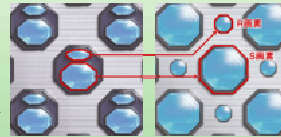


- 第3四半期のデジタルカメラ販売台数は約170万台。
(2004年度9ヶ月累計では、490万台)
- 新発売のデジタル一眼レフ「FinePix S3 Pro」に対して旺盛な引き合い。
- 電子映像事業の収益改善に向け、研究開発・調達・生産体制を刷新。



FinePix S3 Pro
-スーパ-CCD/ニカド™SR」搭載-

1/1.7型
スーパ-CCD/ニカド™SR」



大型(23.0mm x 15.5mm)
サイズ
スーパ-CCD/ニカド™SR」

4

事業別セグメント情報（第3四半期）

FUJIFILM

カラーペーパー・薬品等



- 国内販売は数量ベースで、前期比約6%減、海外ではデジタルミラボの普及・拡大の効果等により約3%増。
- 国内におけるデジカメプリント比率は、引き続き上昇中。
- ケータイプリンタ「Pivi」を国内で発売。テレビCMを大量放映するなど、強力に拡販を推進中。

フォトフィニッシング機器



- 2004年度9ヶ月累計のデジタルミラボ出荷台数は、5,900台。
- 超迅速処理を可能とした「フロンティア570E」を販売開始。



ケータイプリンター「Pivi」



フロンティア570E

5

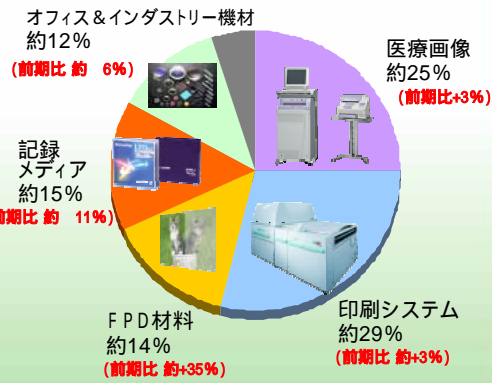
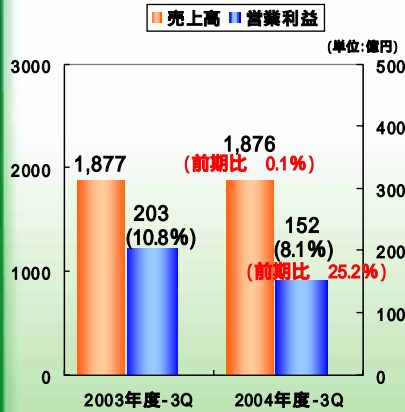
事業別セグメント情報 (第3四半期)

FUJIFILM

インフォメーション ソリューション

売上高・営業利益

売上構成比



*セグメント間取引消去後

6

事業別セグメント情報 (第3四半期)

FUJIFILM

医療画像



- デジタルX線画像診断システム (FCR) の販売が順調に推移。
- 中小規模病院向けに、医用画像情報ネットワークシステム「SYNAPSE EXシリーズ」を国内発売。
- 欧州での内視鏡販売体制強化に向け、チェコに新販売拠点を設置。

印刷システム



- CTP関連製品を中心に、販売が好調に推移。
- 2005年4月にオランダ工場にフォトポリマーCTPプレートを生産開始予定。



2005年4月にフォトポリマーCTP生産設備が稼働予定のオランダ工場



バルーン付電子小腸鏡

7

事業別セグメント情報 (第3四半期)



フラットパネルディスプレイ材料



- 偏光版、パネルの市場在庫が増加していると推定される中、フジタック、WVフィルムともに引き続き強い需要。
- 熊本県にフジタック新工場用地を取得。2006年末の稼働を目指す。
- WVフィルムの生産能力増強に向け、新たに3工場を建設。
【WVフィルムの生産能力】2005年8月 70百万㎡/年へ(+20百万㎡)
2006年6月 90百万㎡/年へ(+20百万㎡)

記録メディア



- エンタープライズシステム「3592」用データテープの販売が堅調に推移。
- LTO Ultrium規格の第3世代、LTO Ultrium 3 データカートリッジを10月より発売。

オフィス&インダストリー機材



- カメラ付き携帯向けレンズユニットが順調に推移し、レンズビジネスの売上が上昇。
- ドキュメントアーカイブシステム「AR1000」を国内発売。

*LTO, Ultriumは、Certance社、Hewlett-Packard社及びIBM社の米商及びその他の国における登録商標です。

8

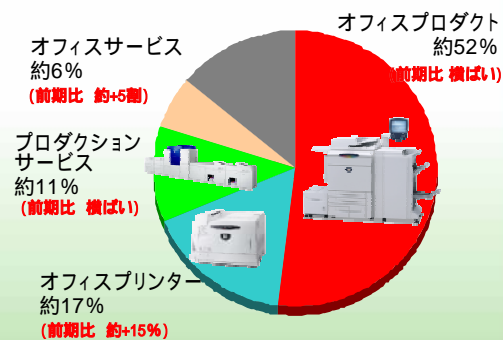
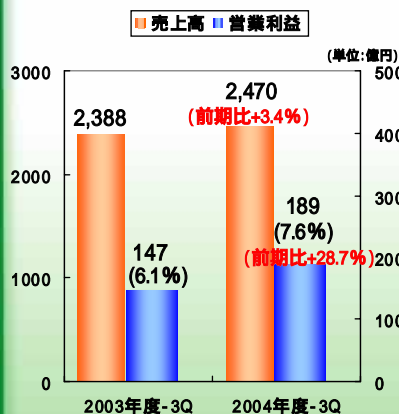
事業別セグメント情報 (第3四半期)



ドキュメントソリューション

売上高・営業利益

売上構成比



*セグメント間取引消去後

9

事業別セグメント情報（第3四半期）

FUJIFILM

オフィスプロダクト



売上構成 約52.9%
(前期比 横ばい)

- デジタルカラー複合機が引き続き好調に推移し、販売台数ベースで国内では前期比約3割増、ワールドワイドでは約15%増加。
- 2004年10月より、セブンイレブンに「新マルチコピー機」を導入開始。
- ネットワークとの連携機能を強化した「Apeos」シリーズを1月から販売開始。

オフィスプリンター



売上構成 約17%
(前期比 約+15%)

- 販売台数ベースで、欧米向け輸出が前期比約120%増、アジア・オセアニアでの販売は約130%増、国内では約10%増、ワールドワイドでは約60%増と大幅な伸び。

複合機新シリーズ「ApeosPort」
(2005年1月発売開始)



モノクロ複合機 ApeosPort 750 I/650 I/550 I



カラー複合機 ApeosPort C6550 I/C5540 I

10

事業別セグメント情報（第3四半期）

FUJIFILM

プロダクションサービス



売上構成 約11%
(前期比 横ばい)

- 高速・高精細のフルカラーオンデマンド印刷システム「Xerox iGen3」の販売を本格化。
- デジタル印刷業務総合支援サービス「Fuji Xerox FreeFlow (富士ゼロックスフリーフロー)」の販売を開始。

オフィスサービス



売上構成 約6%
(前期比 約+5割)

- ドキュメントアウトソーシングビジネスが伸長。
- 中小規模事業所向けのインターネット環境提供サービス「beat」の売上が増加。
- 戸籍電子文書管理システムの販売好調。



Xerox iGen3 Digital Production Press



DocuColor 8000 Digital Press

11

2004年度 通期連結業績見通し



■ 通期連結業績見通し

(単位:億円)

	2004年度 (2004.10.29公表)		2003年度 実績		増減額	%
売上高	100.0%	26,100	100.0%	25,667	+433	+1.7
営業利益	6.3%	1,640	7.2%	1,849	-209	-11.3
税引前利益	6.1%	1,600	6.4%	1,649	-49	-3.0
当期純利益	3.2%	825	3.2%	823	+2	+0.2

12

【VISION75】進捗状況



新たな成長戦略の構築 - 将来を担う新規事業の創出 -

■ R&Dの取り組みと成果

- 新研究拠点「先進コア技術研究所」を神奈川県開成町に建設
富士フィルムの持つ幅広く高度な異種技術の融合によってシナジー効果・総合力を発揮し、新規事業創出に向けて独創性の高い基盤技術開発を推進する。

- 投資額 : 460億円(5年間累計)

- 完成予定 : 2006年春

神奈川県企業誘致政策申請第1号

■ M&A・他社とのアライアンス強化

- アーチケミカルズ社の「Microelectronic Materials」を買収
同社の半導体プロセス材料事業部門である「Microelectronic Materials」を買収、半導体関連プロセス材料事業をグローバルな展開を図る。
- SERICOL社を買収
スクリーン印刷用インクおよび産業用インクジェット用UVインクで世界トップクラスのシェアを保持する同社の買収を通じ、富士フィルムの印刷事業の拡大・発展を目指す。

13

【VISION75】進捗状況



経営全般にわたる徹底的な構造改革

■ イメージング分野の流通・販売構造改革

■ 富士フィルムイメージング(株)発足

イメージング分野の国内営業機能及び特約店4社の営業機能を統合し、流通・販売コストの削減を推進する。

■ 富士ゼロックスの取り組み

■ 原価低減施策

中国への生産拠点集約による加工費改善等の効率化、部品の共通化・標準化の推進、グループ調達等調達コストの低減を実施。

■ 情報プロセス改革

情報プロセス基盤の再構築を通じて、物流・開発・事務等の効率化を推進。

■ 組織・整員改革

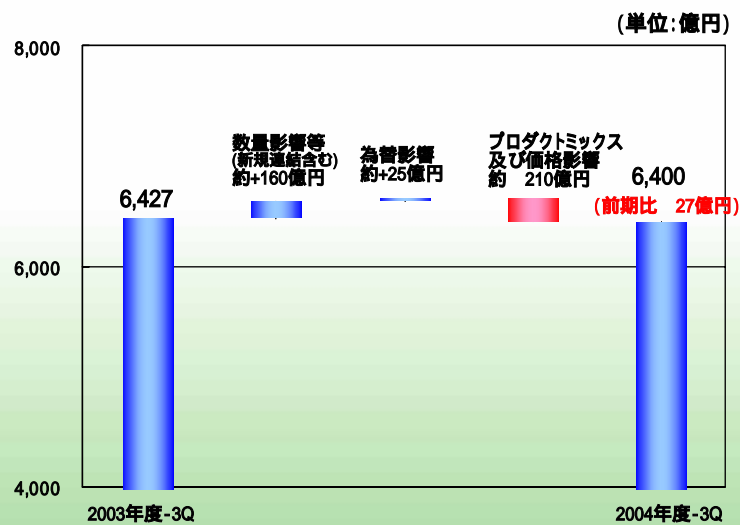
早期退職制度の導入や年金・退職金制度の見直しを始めとした総人件費改革を実施。

14

参考データ



第3四半期 売上高増減要因



15

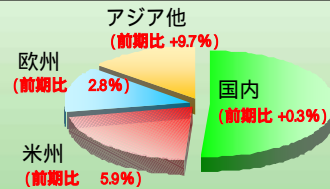
参考データ



第3四半期 国内・海外別売上高

(単位:億円)

	2004年度第3四半期		2003年度第3四半期		増減 %
	構成	金額	構成	金額	
国内	50.9%	3,259	50.6%	3,251	+0.3
海外					
米州	21.3%	1,365	22.6%	1,450	-5.9
欧州	14.2%	906	14.5%	933	-2.8
アジア他	13.6%	870	12.3%	793	+9.7
計	49.1%	3,141	49.4%	3,176	-1.1
合計	100.0%	6,400	100.0%	6,427	-0.4



16

参考データ



第3四半期 所在地別セグメント情報

(単位:億円)

		2004年度 第3四半期		2003年度 第3四半期		増減	
						増減額	%
日本	売上高		4,888		4,886	+2	0.0
	営業利益	6.9%	338	8.3%	408	-70	-17.0
米州	売上高		1,173		1,248	-75	-6.0
	営業利益	-1.7%	-19	2.1%	26	-45	-
欧州	売上高		743		754	-11	-1.5
	営業利益	3.4%	25	5.6%	42	-17	-41.5
アジア他	売上高		945		621	+324	+52.2
	営業利益	5.9%	55	8.2%	51	+4	+8.6
消去	売上高		-1,349		-1,082	-267	-
	営業利益		37		2	+35	-
合計	売上高		6,400		6,427	-27	-0.4
	営業利益	6.8%	436	8.2%	529	-93	-17.7

17

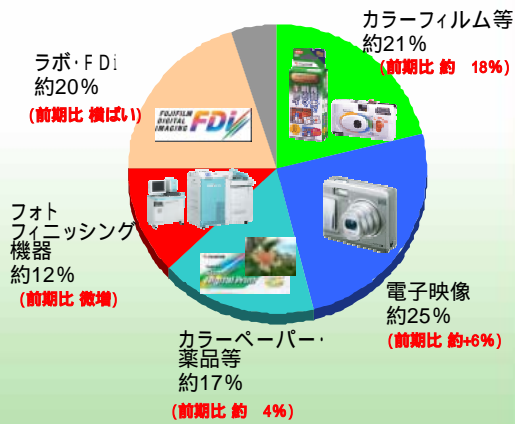
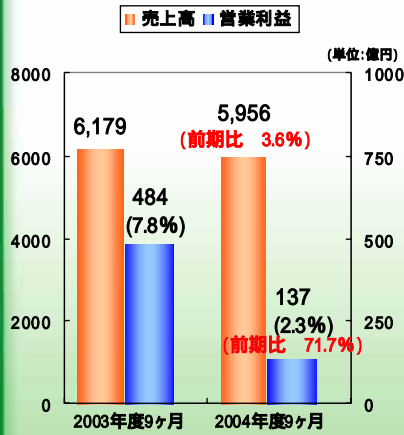
参考データ



イメージングソリューション(9ヶ月累計)

売上高*・営業利益

売上構成比



*セグメント間取引消去後

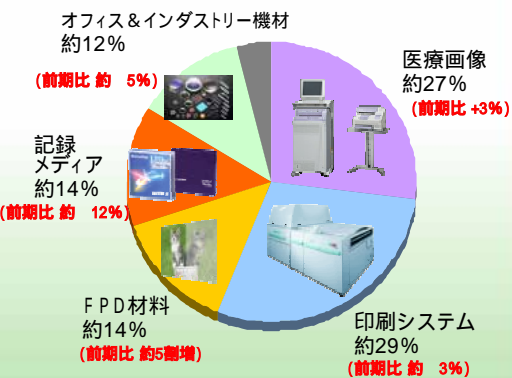
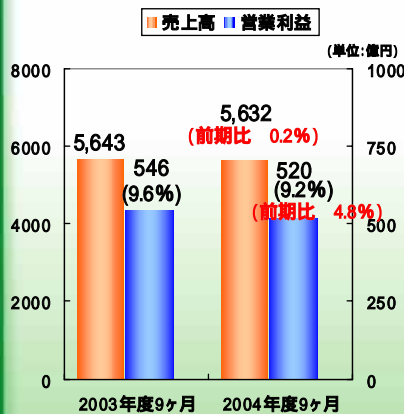
参考データ



インフォメーションソリューション(9ヶ月累計)

売上高*・営業利益

売上構成比



*セグメント間取引消去後

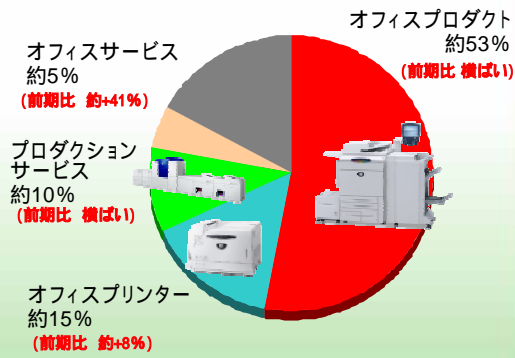
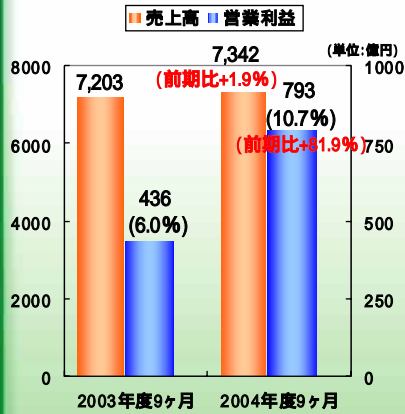
参考データ



ドキュメントソリューション(9ヶ月累計)

売上高・営業利益

売上構成比



*セグメント間取引消去後

参考データ



設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位: 億円)

	2004年度			2003年度		
	3Q	9ヶ月	年度(予)	3Q	9ヶ月	年度
イメージング	45	306	-	84	357	491
インフォメーション	178	501	-	194	596	827
ドキュメント	79	207	-	59	149	289
設備投資	302	1,014	1,650	337	1,102	1,607
イメージング	163	466	-	159	449	594
インフォメーション	157	427	-	126	403	549
ドキュメント	146	424	-	158	427	583
減価償却費	466	1,317	-	443	1,279	1,726
有形固定資産の減価償却費	334	940	1,250	330	921	1,246
研究開発費	401	1,265	1,800	434	1,293	1,733
<売上高比>	6.3%	6.7%	6.9%	6.8%	6.8%	6.7%

ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

参考データ



為替、人員

為替

(単位:円)

	2004年度					2003年度				
	9ヶ月			年度 (予)	9ヶ月			年度		
	1Q	2Q	3Q		1Q	2Q	3Q			
米ドル	110	110	106	109	109	119	118	109	115	113
ユーロ	132	134	137	134	132	133	133	130	132	132

期末人員

(単位:名)

	2004.12.31	2004.3.31	2003.12.31
単独	8,982	9,363	9,417
連結	75,126	73,164	73,590

22



富士写真フイルム株式会社
コーポレートコミュニケーション部 IR室
<http://www.fujifilm.co.jp/>